

## 米中首脳会談の概要(2026年5月14日)(速報)

2026年5月15日

CISTEC 事務局

今回の首脳会談においては、米中関係の「安定化」を図るとともに、センシティブでない分野で貿易を拡大することを検討する貿易委員会等の枠組みを確立することに重点が置かれたと言える。昨年10月に合意された関税や輸出管理等に関する休戦は継続し、中国から米国へのレアアースの供給についても現状の運用が継続すると見られ、米国としては、特定のレアアースについて問題があっても、米中の協議により建設的に解決されているとの見方を示している<sup>1</sup>。

具体的な措置について米中政府の公式な発表はなされていないが、報道をもとに、速報として、輸出管理に関する点を整理すると以下の通りとなる。

### 1. 関税、輸出管理等に関する本年11月までの休戦

本年11月までの休戦は維持され、商務省BISのエンティティリストに係る50%ルール(昨年9月29日公表)、中国のレアアース再輸出管理等の措置(昨年10月9日公表)についても実施停止が継続している。

### 2. 貿易委員会及び投資委員会の設置<sup>2</sup>

米中間の貿易・投資を拡大するための措置を検討する場として、「貿易委員会」と「投資委員会」が設置された。米側からの発信によれば、貿易委員会については、センシティブでない分野において、個別案件を議論し、米中間での輸出入を円滑化していくことが議論されているようである。投資委員会についても、米国への対内直接投資に関してはCFIUS等スクリーニングする枠組みもあるため、センシティブでない分野に限って進める意向が表明されている<sup>3</sup>。

---

<sup>1</sup> Bloomberg, Greer: US, China willing to continue trade truce, May 15 2026,

<https://www.bloomberg.com/news/videos/2026-05-15/greer-us-china-willing-to-continue-trade-truce-video>

CNBC, Watch CNBC's full interview with Treasury Secretary Scott Bessent, May 14 2026,

<https://www.cnbc.com/video/2026/05/14/watch-cnbc-full-interview-with-treasury-secretary-scott-bessent.html>

<sup>2</sup>上記の米 USTR 代表や米財務長官のインタビューでは、米中お互いに300億ドルを輸入することを念頭に、貿易委員会で個別案件を議論するアイデアが示唆されている。

<sup>3</sup>中国によるボーイング200機の購入決定がトランプ大統領のインタビューで言及されているが、米中政府から公式の発表はされていない。FOX business, Trump announces China will buy 200 Boeing jets after Xi talks: 'A lot of jobs', <https://www.foxbusiness.com/fox-news-world/trump-announces-china-buy-200-boeing-jets-after-xi-talks-a-lot-jobs>.

米牛肉加工施設に輸出資格を認めたとの報道もあるが、それがその後撤回されたとの報道もある。

Bloomberg, China Renews Import Permits for US Beef Plants as Xi, Trump Meet, May 14, 2026,

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2026-05-14/china-reopens-door-to-us-beef-plants-as-xi-and-trump-meet>

Reuters, China pulls export licenses for US beef plants shortly after renewing them, May 14, 2026,

<https://www.reuters.com/world/asia-pacific/china-pulls-export-licenses-us-beef-plants-shortly-after-renewing-them-2026-05-14/>

### 3. 今後注目すべき点

- (1) 本年は、11月18日、19日に中国・深圳で APEC 首脳会議が、12月14日、15日に、米国フロリダで G20 首脳会議が開催され、米中首脳会談の機会がある。また、米大統領が、9月24日に、中国国家主席を米国ホワイトハウスに招待することも公表された。これらの首脳会談を通じて、関税及び輸出管理について米中の休戦が継続するのか、貿易委員会等の場でいかなる個別案件が合意されていくかが注目される。
- (2) 関税については、現在、IEEPA 関税 20% (フェンタニル関連関税 10% を含む) が徴収停止となったため、米中の追加関税はお互いに 10% で均衡している。なお、1974 年通商法第 122 条に基づき貿易赤字を理由として課している 10% の関税については、課税できる期間 (120 日) が本年 7 月 24 日までであることから、それまでに 301 条関税がその代替として課される可能性がある。また、その措置に対して中国側が対抗措置を講じる可能性もあることに留意する必要がある。

(参考)

米中の追加関税 (232 条関税、301 条関税は別)

米国：10% (122 条) ⇐ IEEPA 関税 (34% - 24%) + フェンタニル (10%)

中国：10% (そのまま) ⇐ 対抗関税 (34% - 24%)